

# 新たな地域の支えあいの仕組みを考えるワークショップ

みんなで元気になる仕組みを考えたいね～

コミュニティビジネス

## 小金稼ぎが地域の元気をつくる!?

ワークショップ・・・参加者が自由に意見を述べ、いろいろな知恵や案を出し合う話し合いのことをいいます。何かの結論を得るためではなく、すべての意見は同じように尊重され、生かされます。

日時

2008年4月22日(火) 19:00-21:00

参加自由です

会場

黒潮町保健福祉センター2階健康研修室(旧大方町役場前)

### 【報告会】 社団法人高知県自治研究センター黒潮町研究員チーム

当センターでは直販所から遠い地区や、輸送手段を持たない高齢者などの生産物を集荷して回る(庭先集荷)ことが、野菜などの栽培に再び意欲を持ち、生きがい対策や、健康保持に役立つとの仮説をたて、黒潮町湊川・小川地区、馬荷・御坊畑地区を対象として、実証的実験を通じた研究を行っています。今回は、当初予想した仮説通りの結果が出てきつつある研究の中間的報告と、そこから明らかになった成果や課題、今後の行政施策としての可能性などを、黒潮町研究員チームがご報告いたします。

報告者: 畦地和也・友永公生・山崎裕也・福岡和加(お問い合わせ: 0880-43-2111)

### 【ワークショップ】「庭先集荷」を“活性化”させる方法を考える

この仕組みに参加している方からは、「畑仕事にやる気ができ、生きがいが増えた。」「孫にこづかいをあげられるようになった。」「隣近所との交流が増えた。」などの声をいただいています。このことから、自分で作ったものが売れることが、生きがいや人々の元気を増していることがわかります。そこでもっと皆さんに「庭先集荷」に参加していただき、小金を稼いでもらうにはどうしたらよいか、一緒に考えます。

### 「庭先集荷」の仕組みが普及すると・・・

- ・あきらめていた生産を再開、もっと作ってみよう、工夫してみよう⇒**生きがい、やりがい、元気、人との交流が活発になり、医療費抑制や介護予防になる。**
- ・地域の商品が増える⇒**安心安全の商品が増えることによってお客が増える、直販所の売り上げが増え、地域産業の振興、耕作放棄地の増加を防ぐことができる・・・**

と、私たちは確信しています!!